

城下の正月行事 馬威し

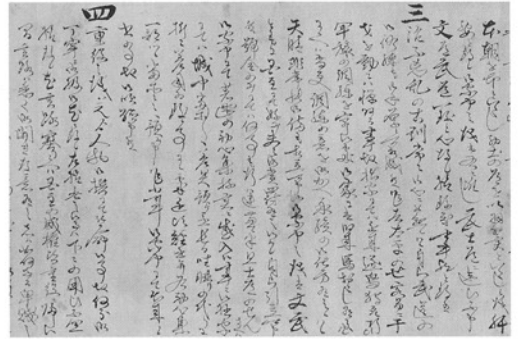
●会場 1階 松平家史料展示室
●会期 平成17年1月5日(水)～2月27日(日)
〈休館日 1月31日(月)・2月1日(火)〉

江戸時代の福井城下では、年間を通してさまざまな行事が催されましたが、その中でも規模が大きく有名だったのが正月行事の「馬威し」でした。

馬威しは「左義長馬威し」とも呼ばれたように、正月の左義長神事に関連して行われるようになりました。今回の展示では、越前松平家などに伝わる古文書や記録、絵画史料から、馬威しの目的や由来、実態などについて紹介します。

1 馬威しの目的と由来

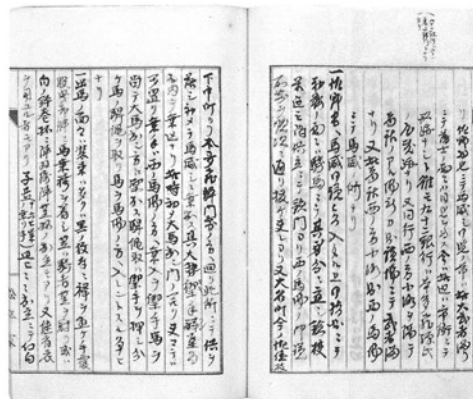
馬威しは福井藩の武士が馬術の訓練をする目的で、左義長火祭で燃え盛る左義長飾りの周囲を馬で乗り回ったことに始まるとされています。その後庶民が参加して進路を妨害する行為が加わったことで、武道を修練する競技として発展しました。馬威しは大変有名であったようで、水戸藩主の徳川斉昭も福井藩主の松平春嶽に対して、太平の時代に乱を忘れずという古人の戒めがあるが、こうした時代の武道修練として福井藩の馬威しが重要であると説いています。またこの行事は武士と庶民が競い合う性格を持つことで、両者の融和を図る目的もあったようです。



徳川斉昭が馬威しについて記しています。
「徳川斉昭書状」
福井市春嶽公記念文庫

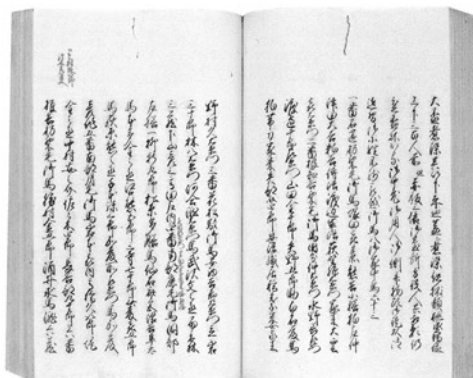
2 本威しの実態と参加者

馬威しは特に盛大であった1月14日(旧暦)に催されるものを「本威し」と呼びました。本威しは福井城内桜門付近の武家地で行われた後、桜門外の本町通りから九十九橋の北詰に至る街路でも行われました。本威しは初鞍と二鞍の二回に分けて催されています。明和2年(1765)の初鞍の場合は8組に分かれ、1組は馬7匹から9匹で構成されていました。乗り手は福井藩士の各家の当主や子弟、上級家臣の家来(陪臣)などが勤めました。また「禦手」や「威し人」と呼ばれ、馬の進路を妨害する人々には、城下に住む町人や村に住む農民が数多く参加しました。乗り手の武士は馬を上手に操って最後まで完走させようと奮闘し、妨害する庶民との間で激しい競い合いをしました。



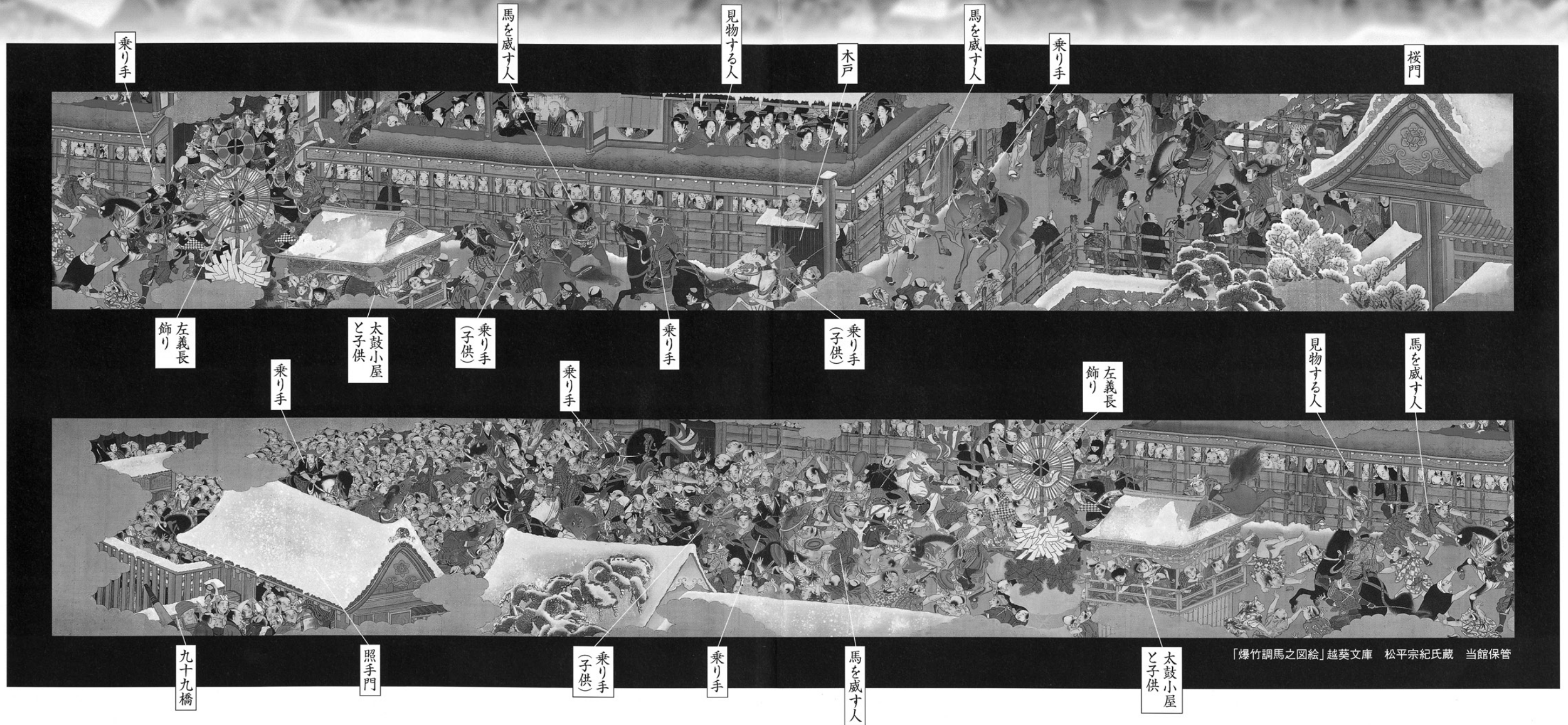
旧藩時代の馬威しの模様を記しています。

「福井市左義長馬威し之模様書」
松平文庫 松平宗紀氏蔵
福井県立図書館保管



乗り手の名前が記されています。

「国事叢記」
松平文庫 松平宗紀氏蔵
福井県立図書館保管

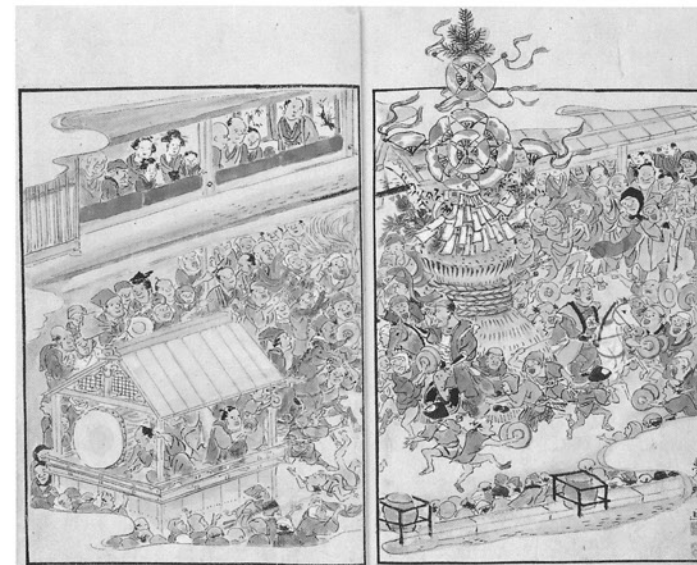


「爆竹調馬之図絵」越葵文庫 松平宗紀氏蔵 当館保管

3 描かれた馬威し

「爆竹調馬之図絵」

旧暦の1月14日に催された本威しの情景を描いた作品です。場面は福井城の西の外堀に面する桜門より出馬して、本町通りを西へと向かう乗馬の武士たちを、庶民が身振りや鳴り物・旗などで激しく威して妨害する様子が活写されています。馬威しは大変人気があったようで、本町通りに面した店の中は見物人であふれています。



「越前国古今名蹟考」松平文庫 松平宗紀氏蔵 福井県立図書館保管

「越前国古今名蹟考」

この挿絵も本町通りでの本威しの情景を描いています。街路の中央には左義長飾りと子どもたちが集まる太鼓小屋がみえます。絵師は福井藩士の高島夢蝶です。



「福井藩十二ヶ月年中行事絵巻」 福井市春嶽公記念文庫

「福井藩十二ヶ月年中行事絵巻」

福井城内桜門前での本威しの情景を描いた作品です。桜門から城外へ走り抜けようとする乗馬の武士たちを庶民が激しく妨害しています。なお、在国中の藩主が門内の武家屋敷から馬威しをご覧になることが通例となっていました。

「城下の正月行事 馬威し」展示品目録

史料名	員数	備考
馬威しの目的と由来		
1 慎独斎雑録	1冊	福井市春嶽公記念文庫
2 徳川斉昭書状	1巻	福井市春嶽公記念文庫
3 追懐帳	1冊	当館蔵
本威しの実態と参加者		
4 福井市左義長馬威之模様書	1冊	松平文庫 松平宗紀氏蔵 福井県立図書館保管
5 続片聾記 六	1冊	当館蔵
6 越藩史略 十三	1冊	松平文庫 松平宗紀氏蔵 福井県立図書館保管
7 家譜 百八十四	1冊	越葵文庫 松平宗紀氏蔵 当館保管
8 国事叢記 十四	1冊	松平文庫 松平宗紀氏蔵 福井県立図書館保管
9 左義長馬おどし名前	1綴	福井市春嶽公記念文庫
10 続片聾記 四	1冊	当館蔵
11 八条流馬書	1冊	松平文庫 松平宗紀氏蔵 福井県立図書館保管
12 山口家譜 二	1冊	当館蔵
描かれた馬威し		
13 福井藩十二ヶ月年中行事絵巻	紙本著色 1巻	福井市春嶽公記念文庫
14 爆竹調馬之図絵	絹本著色 1巻	越葵文庫 松平宗紀氏蔵 当館保管
15 越前国古今名蹟考 五	1冊	松平文庫 松平宗紀氏蔵 福井県立図書館保管
(参考資料)		
16 菱川師福筆 馬威し図屏風(右隻)	紙本著色 1隻	菱川師福翁記念文庫

◎見どころ講座

「城下の正月行事 馬威し」

日時 1/15(土)午後2時～
場所 講堂(2階)
担当 印牧信明(当館学芸員)
定員 50人 当日受付

【次回の展示】

少年藩主のお国入り

3/1(火)～5/8(日)
○見どころ講座 3/13(日)

臨時休館日 3/17(木)

松平家史料展示室 展示解説シート No.8
平成17年1月5日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話(0776)21-0489 FAX(0776)21-1489
担当 印牧 信明